



トガリネズミラヴァー 六田晴洋の 私たちの ご近所さん



VOL. 17 「刺牛の鳥たち」

り鳥。北海道内の生息地は小樽などわずか数カ所しかありません。森の奥で繁殖した後、10月頃に北海道を旅立します。そんなアオバトが国道38号沿いに現れる理由は、海水を飲むため。森では摂取できない塩分やミネラルを海水から得ていると言わっています。それにしても、アオバトの美しさたるや。鮮やかな黄緑色の体に水色のクチバシ。

さらには、青と赤の目。車から見ているだけではこの美しさには気づけません。もっと早く撮りに来れば良かつた。いつもたくさんいるし「また今度」と、つい后回しにしていたことを後悔しました。

当たり前であることの尊さ

その道路沿いに、いつも同じ

場所から海を眺めているオジロワシがいることに数カ月前に気づきました。あのオジロワシが繁殖に成功したのでしょ

北海道で暮らす渡り鳥と、一年中の時期に見るオジロワシは後者です。そして夏はオジロワシの繁殖期。きっと私がいつも見るオジロワシも子育て中で、アオバトを狙っているのかなど想像

アオバトもオジロワシも、白糠に長年住んでいた方にとっては気にする

までもない“いて当たり

前の鳥”かもしれません。

しかし気候変動などを理由に、急激に環境が変化している近年。少し前までいたものが気付いたらいなくなっていることも珍しくありません。道路のすぐそばにアオバトとオジロワシがいるこの環境が、いつまでも当たり前であつてほしいと思うのでした。

海沿いの国道38号。この時期、海と森に挟まれたこの道を車で走ると、刺牛の辺りで、ほぼ毎回目に見る2種の鳥がいます。アオバトとオジロワシです。いつも横目に見るだけでしたが、この夏ようやく本腰を入れて撮りに行きました。

森と海を行き来する
アオバト



美しいアオバト



巣立ったばかりのオジロワシ

アオバトは5月頃に本州以南からやって来る渡

PROFILE

六田晴洋

ろくたはるひろ

1986年生まれ。

2021年に白糠町へ移住。大学卒業後、フリーランスのカメラマンやディレクターとして野生動物や自然風景を撮影している。<https://rokutaharuhiro.com>

